

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：総務事務センター

担当名：総務事務システム第一担当

内線：2396

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B16	総務事務システム運用管理事業費			一般会計	総務費	総務管理費	一般管理費	総務事務集中管理費	
事業期間	平成18年度～	根拠法	なし				宣言項目		
							分野施策		
<p>1 事業の概要</p> <p>総務事務システムは各職員の諸手当や人事情報等の届出を職員本人に入力させ、その認定等の事務を総務事務センターで集中処理するためのシステムである。 本事業は総務事務システムの安定稼働及び認定事務等に必要の人員の確保を目的とする。</p> <p>契約差金及び費用節減による減額 (1) システム維持管理経費 2,602千円 (2) システム維持管理経費の節減による減額 (3) 認定事務費 120千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 ア システム維持管理経費 システムの運用保守業務委託 サーバ機器等の維持管理 98,717千円 イ 職員支援等事務費 認定業務及びヘルプデスク業務等を行う人員の確保 43,807千円 ウ 認定事務費 通信費、消耗品費 998千円</p> <p>(2) 事業計画 ア 総務事務システムの安定稼働(目標：稼働率100%) イ 認定事務等の集中処理 (ア) 平成30年 4月 定期人事異動関連事務 (イ) 平成30年 6月 期末・勤勉手当事務 (イ) 平成30年 7月 諸手当の事後確認 (ロ) 平成30年10月～ 年末調整事務 (ロ) 平成30年12月 期末・勤勉手当事務 (ハ) 平成31年 3月 年度切替え事務</p> <p>(3) 事業効果 総務事務のシステム化及び集中処理による県庁全体の総務事務の効率化</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア システム運用保守業務の民間委託(民間のノウハウや専門知識を活用) イ 認定業務及びヘルプデスク業務の民間委託(業務の多寡に応じた柔軟な人員配置を実現)</p> <p>(5) その他 ア 平成31年度に予定している「情報システム統合基盤」に移行するための調査・設計業務を委託する。 イ 元号改正に対応するため、システム改修業務を委託する。</p> <p>(6) 補正予算の概要 ア 「統合基盤へのシステム移行に係る調査・設計業務委託」に係る契約差金に伴う減額 イ パソコンリースに係る契約差金に伴う減額</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 包括算定経費(細目) 企画費 (細節) 情報管理等費 (積算内容) 電子計算機による情報処理、運用等</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×8.1人=76,950千円</p>									
				財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
予算額		諸収入							
決定額	2,722							2,722	140,800
現計額	143,522	348						143,174	